

THE REAL FUKUSHIMA ~ POP-UP60 ~

a2200508 遠藤里美

【制作意図】

私が20年間住んできた「福島県」
しかし実際のところ、自分の住んでいるごくわずかな地域しか知らないということに気づかされた。福島県は他の県より確かに広く、自分の生まれ育った県のことを知らないという事はとても恥ずかしいと思った。そして同時に、「福島県」のことが知りたくなった。

そこで私は、福島県60市町村を調べ「これは知っておいて欲しい」、「これはぜひ知ってもらいたい」という情報を載せることにした。しかし、ただの文字情報だけでは見ても見えないし、つまらない。

そのため、相手に興味深く情報を伝えるということを第一に考え、誰もが興味を持って見ることが出来るような仕掛けのあるカード(POP-UP)を作ることにした。

【制作過程】

- 1,立案
- 2,事例調査
- 3,市町村ごとの公式サイトで情報を集める(1つ~2つ)
- 4,制作物の寸法の検討
- 5,文字配置を決め、仕掛けを決める
- 6,制作

【制作物】

60個のPOP-UP

【制作方法】

Adobe Photoshop CS, Adobe Illustrator CSを使い制作

【使用画材】

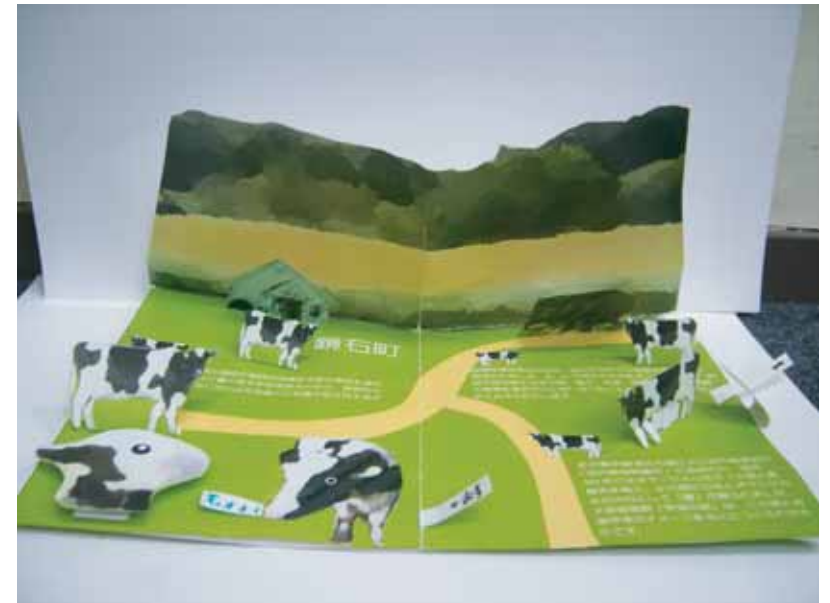
色鉛筆、ペン、クレヨン、・・・等

【考察】

制作していると、POP-UPの種類が似通ってきてしまい、同じものだと興味が薄れてしまうような気がして少しでも違うものにしようと考え苦労した。

POP-UPは子供でも作れる簡単なものから高度なテクニックが必要なものと幅広くとても奥が深いものだと感じた。

サイズ:200mm×148mm(開いたサイズ)・・・(例 鏡石町)



ウォールポケットに収納する

サイズ:100mm×148mm(仕上がりサイズ)

